



2024年6月号

～ 目 次 ～

AA イベント嵐山バーベキュー・・・2～5  
スケジュール ・・・・・・・・・・・・・・6  
史実が語るもの・・・・・・・・・・・・・・7  
会計報告・・・・・・・・・・・・・・8



# 嵐山バーベキュー

今年も新緑のゴールデンウィークに毎年恒例の AA イベント嵐山バーベキューに  
参加させていただきました

参加されていたジャパンマックのオ'ハナさん同じブースで  
ワイワイ賑やかにバーベキューを楽しませていただきました  
感想と写真を交えてお伝えしていきたいとおもいます



## 嵐山バーベキュー

Y・S

朝、予定より早く起きて、家族を起こさないように、静かに朝の準備、やる事をやって、いざ、嵐山へ。天気も良くて、気持ちが良い。いつも音楽を聞きながらマックに行くんですが、この日は、鳥の鳴き声や、生活音を聞きながら出発しました。

嵐山バーベキューは、去年も参加させてもらってるので、楽しみにしている自分もいました。道中もなんだか、旅行気分です、さすが良かったです。

前回の自分は、何も気にせず楽しめましたが、今回は、みんな楽しそうにしている姿が羨ましかったです。仕事でも、初めてやることばかりで失敗ばかり。自分が本当に、何もできない奴なんだなあ、と、仕事行く度に痛感していました。次回参加させてもらう時は、笑いながら、少し景色や仲間との会話が楽しめる自分になりたいです。

参加させてもらい、またたくさんの仲間や久しぶりに会った仲間と近況報告などさせてもらい、充実した一日でした。

ありがとうございました。



## 嵐山バーベキューの感想

M・K

昨年のラウンドアップで迷子の件もあり、最近では行き先の看板も確かめず、乗った電車バスの中で寝てしまい乗り越してしまう事もあるかと思ひ、早朝発の電車ですぐ目的地に向かいました。その行路の最中気を張っていたこともあり、早めに現地に着き仲間らしき人達が来るのを待っていました。

いざ準備に取り掛かると自分が見えなくなるほど、周囲に気を付けていました。結局終盤から焦って食べましたが自ら忙しくさせていたなと感じました。今迄を振り返っても何事も自分で忙しくさせ疲れたから何もやらない。行かない事に繋がっていたのかと思ひ知らされました。担当者から言っていた忙しいからミーティングに行く事を続ける事が大事だと分かりました。そして自分の視野の狭さなど色々気付かせて頂く貴重な体験をさせて頂き、失敗して学ぶものだなと思えました。参加させて頂き、良い機会になりました。ありがとうございます。帰ったその晩は熟睡でした。



#### 嵐山バーベキューに参加して

Y・T

昨年に引き続き今年も嵐山バーベキューに参加させていただきました。昨年よりも人数が多いと聞いていたので、気疲れしないか不安な気持ちでいました。

どのような雰囲気に進んでいくバーベキューになるかわからなかった当日ですが、行った矢先から顔見知りの仲間が多くいて、まず安心しました。私はグループにも所属していませんし、さいたまマックに通所している身なので、特に役割もなく、なにをしていいのだろうと考えていました。しかし、大人数のところに行くと自分を良く見せたくなる我がでてきてしまい、これが一番の反省点となりました。

そんな反省点がいくつもあったフェローですが、ミーティングを共に歩いている仲間に出会ったり、お世話になっている仲間に出会ったりすることは、率直に嬉しかったですし、昨年までの自分とは違い、ミーティングに出ていてよかったと感じたことでした。まだまだ大人数のフェローにいくと気疲れしてしまう私ですが、そのような自分であることを再確認させてもらったことも、このフェローに参加して得られた大きな収穫になったと思います。

これからも多くのミーティングに参加しながら、ありのままの自分でいられる、気楽に過ごせる自分になれるよう、たくさんの仲間と触れながら過ごしていきたいと思います。

フェローに参加させていただきありがとうございました。

今回、初めて参加いたしました。

入院中の身ながら。楽しみにしていました。

が、「朝から暑いなー」と思いながら、現地へ向うが、熱中症の不安も頭をよぎる。

当日まで、何を手伝おうか何も考えていなかった為、周りがいろいろ準備の為の作業をしているなか、うろうろしている自分。

「どうしようかな」と思いながら、知っている仲間と雑談していたら、「今日、やる事あるの？なかったら、うちのグループがサラダの担当だから、手伝ってくれたら、ありがたいんだけど」の言葉。「手伝わせて下さい」

以後、野菜を切る。雑談する。切り終わるとやる事が無くなる。これだけで疲れる。

「しかし、暑いなー」と日陰にばかりいる自分。「みんな、元気だな」と思いながら、あまり食欲が出ない自分。

あまり食べられなかったし、あまり仲間と話すことも出来なかった。

だが、来年も参加するつもりです。



## 6月の通所者プログラム

- 6日（木）サテライトミーティング バーベキュー（さぎ山公園）
- 8日（土）スポーツプログラム
- 9日（日）みのわマック46周年感謝の集い（赤羽会館）
- 13日（木）特別ミーティング
- 20日（木）マック・ダルク合同オンラインミーティング
- 22日（土）視聴覚プログラム（施設内）
- 23日（日）さいたまマック感謝の集い（さいたま市産業文化センター）
- 25日（火）さいたまマック便り発送
- 27日（木）ビジネスミーティング
- 29日（土）AAワンデーグループ ステップセミナー（リリックおがわ）
- 30日（日）埼玉東地区の集い（上尾市文化センター）

## 6月のスタッフ渉外活動・自己啓発活動

1日（土）マック利用案内 与野中央病院	13:45~15:30
家族ミーティング	18:00~19:30
5日（水）マックダルク連絡会	18:30~20:30
7日（金）家族ミーティング	19:00~20:30
11日（土）職員研修	15:30~17:00
12日（水）家族教室 済生会鴻巣病院	14:00~15:30
13日（木）マック利用案内 久喜すずのき病院	13:30~15:00
15日（土）家族ミーティング	18:00~19:30
21日（金）家族ミーティング	19:00~20:30
26日（水）マック利用案内 県立精神医療センター	14:00~15:00
26日（水）調整会議 県立精神保健福祉センター	19:00~20:30

・今月号の『はらたち日記』はお休みいただきます。

モンマルトルに集いし人々（ロートレック、ヴァラドン、ユトリロ）

アルコール依存症者で史実に語られる有名人を探そうとすると、1880年代のモンマルトルにたむろする画家を探すのがいい。当時のモンマルトルは、安酒を出す「オ・ラパン・アジル」や「ル・シャ・ノワール」、「ムーラン・ルージュ」などのキャバレーが、ボエーム（ボヘミアン）の芸術家だけでなく娼婦やその情夫、犯罪者、浮浪者等、社会の底辺に生きる人々などが集まる場所であった。

◇「ロートレック 葡萄酒色の人生」という映画があるが、主人公のロートレック（1864. 11. 24～1901. 9. 9）は伯爵家に生まれたが13歳時に左大腿骨を14歳時には右大腿骨を骨折し、発育が停止し、成人した時の身長は152cmに過ぎなかった。父親からは疎まれ孤独な青春を送った。1882年にパリに出て画塾で学び、その後モンマルトルの画塾に移り、晩年まで過ごし、ファン・ゴッホやエミール・ベルナールらと出会っている。22歳頃には絵画モデルであったシュザンヌ・ヴァラドンと同棲している。ムーラン・ルージュの風俗画を描き、当時の時代の様子やモンマルトル、特にムーラン・ルージュの猥雑な雰囲気を知るには良い絵であり映画である。彼は長年アブサンを飲酒した上梅毒も患って衰弱し、サナトリウムに短期間入院した後、母親の邸宅（マルロメ城）で両親に看取られ脳出血で亡くなった。

◇シュザンヌ・ヴァラドン（1865. 9. 23～1938. 4. 7）は、洗濯婦であった母マドレーヌの私生児として生まれた。母は生活のため、家政婦・洗濯婦・アイロンかけとして働き、ヴァラドンはアパートの管理人に預けられた。修道院の小学校に入学するも11歳のときに退学し裁縫師となり、その後、大衆食堂の給仕や市場の野菜の売り子など点々としていた。15歳の時サーカスに入団するも空中ブランコから転落し退団する。その後、モンマルトルの芸術家と付き合うようになり絵画モデルの仕事をするようになる。ピュヴィス・ド・シャヴァンヌ、ルノワール、ロートレックなどのモデルを務めながら自身も本格的に絵を描くようになる。この頃、18歳の彼女はユトリロを出産するも母マドレーヌに預け、モデルの仕事に専念し、家計をささえていた。1896年ムージスと結婚し生活が安定するがユトリロの友人で21歳年下のユッテルと同棲しはじめ、ヴァラドンから離婚を申請し離婚し。1914年ユッテルと再婚した。1912年、ユトリロ、ユッテル、マドレーヌ、そしてヴァラドン自身を描いた《家族の肖像》は、家族像とはいえ4人の視線は交わることなく、それぞれ異なった方向を向いている。家族としてのまとまりを欠いた（機能不全家族）の《家族の肖像》となっている。モンマルトルでは「地獄の3人組」「呪われた3人組」として知られることになる。

1935年、高齢になったヴァラドンは、息子ユトリロの将来を心配し、旧友で資産家の12歳年上の未亡人と結婚させている。1938年4月7日脳溢血のため、72歳で死去している。

◇モーリス・ユトリロ（1883. 12. 26～1955. 11. 5）は、シュザンヌ・ヴァラドンの私生児として生まれ、身体的にも精神的にも不安定であったにもかかわらず、ヴァラドンは息子の世話を祖母マドレーヌに任せた。2歳の頃、ユトリロはてんかん発作に見舞われ、その後も後遺症が残った。ユトリロのアルコール依存症は祖母マドレーヌにも原因があった。マドレーヌ自身も酒には目がなく、一種の精神安定剤としてユトリロに酒を飲ませていた。その結果ユトリロは17歳頃からアルコール依存症に対する治療を始めることになった。1904年にユトリロを診察した医師の手記によるとユトリロの父親がアルコール中毒、父方の祖母が自殺していると記されているがユトリロの父親は諸説あって判明していない。ユトリロのアルコール問題は彼の奇行が原因となっており、「公道で通行人に性器を露出した」として逮捕されている。前述のとおり父親不在、恋多き母親、友人の妻が母親等、母性愛の飢餓状態、葛藤や激情の日々を送り、母ヴァラドン亡き後は、精気のない表情でヴァラドンの肖像画を眺めて日々過ごしていたらしい。

## 後援会 4 月会計報告

収入の部	会員献金	129,000	支出の部	事務費	9,265
	賛助会員	-		印刷費	6,600
	法人会員	50,000		通信費	-
	会場献金	-		行事費	-
	雑収入	-		雑費	8,801
	① 収入合計	153,551		② 支出合計	25,449
				③ 収支差額 (①-②)	153,551
				前月繰越金	967,323
				次月繰越金	1,120,874

### 【後援会会員募集】

暖かで家庭的な雰囲気を引き付けられて訪れたアルコール依存者がいます。マックが醸し出す雰囲気は闇夜を照らす灯台。この灯を照らし続けるために、私たち後援会はマックと云う灯台を支えております。一人でも多くの方が支えの環に入って頂ければと思います。

お問い合わせは、下記後援会までお願い致します。

発行：さいたまマック後援会

住所：〒337-0032 さいたま市見沼区東新井710-33

鎌倉ハイツ1階さいたまマック内

Tel & Fax：048-685-7733

ホームページ：http://www.saitama-mac.com

献金宛先：さいたまマック後援会<郵便振替>

郵便振替：00100-7-151361 さいたまマック後援会